

国際情勢から考える2026年 ～激変する世界の中で我々は何をすべきか～

登壇者

石川 智久 氏

株式会社日本総合研究所

調査部長/チーフエコノミスト/主席研究員

《経歴》

1997年03月 東京大学経済学部卒業
1997年04月 (株)住友銀行入行
1999年04月 (株)日本総合研究所調査部
2002年04月 (社)日本経済研究センター出向
2004年04月 (株)三井住友銀行経営企画部金融調査室
2014年04月 (株)三井住友銀行経営企画部金融調査室(大阪) 次長
2017年07月 (株)日本総合研究所調査部 関西経済研究センター長
2019年07月 (株)日本総合研究所調査部 マクロ経済研究センター所長
2022年04月 内閣府政策企画調査官(経済社会システム担当)
2023年08月 (株)日本総合研究所調査部 調査部長/チーフエコノミスト

2018年度 関西経済同友会 企業経営委員会委員長代行
2019年度 神戸経済同友会 提言特別委員会アドバイザー
2020年度 関西経済同友会 経済政策委員会委員長代行
その他に、経済財政諮問会議サポートエコノミスト、大阪府「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン」有識者ワーキンググループメンバー、兵庫県資金管理委員会委員等を拝見

研究・専門分野はマクロ経済、銀行法等の金融制度分析、関西経済、経済政策。
著書は大阪が日本を救う(著)、大阪の逆襲(共著)、「金利のある世界」の歩き方(著)、大阪 人づくりの逆襲(著)。ヤフーコメンテーターや日経新聞十字路等のメディア登場も多数。

内容

日本総合研究所チーフエコノミストの石川智久氏を迎え、トランプ政権が掲げる「新・国家安全保障戦略」が日本経済にどのような影響を与えるのか、そしてAIがもたらす産業地殻変動を多角的に分析します。本フォーラムでは、関税政策、先端技術の輸出規制、そして地政学リスクの変容を紐解き、またAIが『概念』や『試行』のフェーズを超え、経営資源そのものとなりつつある今、実際にAIを経営に組み込んだ先行企業では、どのような生産性の向上や組織変革が起きているのか、海外の事例を踏まえご講話いただきます

日時

2026年2月25日(水) 12:00～13:30

※受付：11:45より開始※ランチをご用意しております

場所

東京都港区南青山3-1-30 PASONASQUARE

対象

経営企画、人事戦略、新規事業部門、イノベーション推進、DX推進/IT部門 責任者の方

定員

15名(先着順)

※お席が満席になり次第、締切日を待たずに締め切らせていただく場合がございます

【お申込み方法】 右記より、QRまたはメールよりお申込みください。

◆日本CBO協会への申込・問合せ：cbo@pasona-jobhub.co.jp

◆日本CBO協会HP：https://www.j-cbo.jp/

締切2月20日(金)

